**令和２年度　鵜川小学校　学校経営方針**

**1　教育目標**

　　　　　　　　心身ともに健康で、主体的・創造的な児童の育成

**2 めざす児童像**

○すすんで学ぶ子(知)　　○思いやりのある子(徳)　　○たくましい子（体）

**3　めざす学校像**

・児童一人ひとりが安全に、安心して通うことができる学校

・保護者や地域住民が「協力・応援」したいと思う学校

　・児童や保護者、教職員が信頼と誇りを持てる学校

**４　学校経営の基本方針**

**重点目標　　　　凡事徹底　　　共通理解　　　共通行動**

保護者や地域の人々からの信頼を基盤に、安全安心な環境の中で、目標に向かって、 主体的に挑

戦していける強い意志と実行力を持った児童の育成を目指し、全教職員が協働して学校経営に参画できる学校づくりを目指す。

① 知徳体のバランスの取れた学校づくり

＜**確かな学力＞**

・学習規律を徹底し、家庭学習の習慣を定着させ、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身につけ

た子を育成する。

・個に応じたきめ細かな指導とICTを効果的に活用し、「わかる授業・楽しい授業」を目指す。

・「学力向上ロードマップ」「学力向上プラン」に基づき、組織的にPDCAサイクルによる指導の充実を図る。

・各種学力調査や単元テストの結果を活用し、校内研修（授業研究等）を通して授業改善を行う。

・主体的・対話的で深い学びの実現のために、課題に対して見通しをもって粘り強く取り組み、対話

を通して自分の考えを広げ深めることができるような、授業の質の向上を目指す。

＜**豊かな心＞**

・気持ちのよい挨拶(語先後礼)や言葉遣いができるように継続的に指導する。

・道徳の時間を要として「考える道徳」「議論する道徳」を推進し、道徳教育の推進を図る。

・目標に向かって、粘り強くやり抜く子の育成を図る。

・地域と連携した自然・文化・風土を知る体験活動の充実を図る。

＜**健やかな体＞**

・「体力アップ１校１プラン」をもとに、計画的に体力向上や運動能力向上を図り、年間を通して

児童に「体を動かす楽しさ」「体を動かした後の爽快さ」を実感できる活動を実践する。

・各種体育的行事(スポチャレ・うかわっ子オリンピック・校内マラソン大会等)で適度な競争意識を与

えたり、賞賛や評価を行ったりすることで、向上意欲をかき立てる。

・家庭と連携した基本的な生活習慣の形成と健康な食生活の充実を図る。(早寝早起き朝ごはん)

**＜特別支援教育の充実＞**

・児童の困り感を把握し、個に応じた支援を工夫したり、多様な体験を通して、満足感や達成感を味わわせることによって､自己肯定感を高める。

・個に応じた支援体制を整え、特別な支援を要する児童への理解を深め、校内研修等を通じて切れ目のない指導を図る。

② 安全・安心な学校づくり

　・あらゆるリスクを想定し、一人一人の教職員が危機管理意識をもって教育活動に当たる。

・「いじめは、どの子どもにも、どの学校でも起こりうる」という意識の下、いじめの未然防止、早期発見、早期対応を実践し、安心して通学できる学校をつくる。

・組織による積極的・継続的な取組により、いじめや不登校のない学校・学級を作る。

・危機回避能力の育成と家庭地域と連携した安全教育・防災教育を推進する。

③ 家庭・地域との連携強化

**＜家庭と学校との連携＞**

　・家庭と連携し、学習習慣の定着を図り、家庭学習の量的質的向上に取り組む。

　・保護者とともに行う読書活動推奨のために、家庭読書週間、読書カードの活動に取り組む。

　･各種便りやホームページを活用し、学校や児童の活動の様子を積極的に発信する。

**<地域に開かれた学校づくり>**

・教育目標の達成に必要な「人・もの・自然」を、家庭や地域の協力を得ながら教育課程に位置づけ

て、地域に根差した教育活動を意図的・計画的に展開していくことで、保護者・地域から応援され

る学校づくりを目指す。

・「海洋教育」を核として、地域の教育資源の有効活用を図るとともに、地域における自分の存在価値を見い出せる「ふるさと教育」に努める。

④ 活力ある教師集団づくり

　　・教育公務員としてプロ意識を持ち、同僚性を構築し信頼される教師集団を目指す。

・服務規律を遵守し、危機管理意識の高揚を目指す。

・職員室の風通しを良くするとともに、「報告・連絡・相談」の徹底を図り、全職員が一丸となって協働的に課題解決に取り組む集団をつくる。

・教員育成指標をもとに、キャリアステージに応じた目標を立て、計画的に育成する。

・「若プロ」等の研修を活用し、組織的に人材育成を行い、教職員の資質向上を目指す。

　　・業務改善により、教師が心身の健康を損なうことなく子どもと向き合う時間を増やし､教育の充実

を図る。